

原子力災害対策につきまして、鳥取県、島根県、周辺自治体の広域的な取り組みである原子力防災連絡会議や、鳥取県の避難計画策定プロジェクトチームに参加し、避難計画の策定等に連携して取り組んでおります。

中国電力株式会社との(仮称)島根原子力発電所に係る安全確保等に関する協定につきまして、鳥取県、米子市とともに鳥取県原子力防災体制協議会において、協定締結に向けた協議を進めているところであります。

なお、7月20日には市民向けの原子力防災研修会を開催したところであります。



NTT施設利用に関する協定調印式

美保基地への次期輸送機配備

航空自衛隊美保基地における次期輸送機(XC-2)の配備について、4月27日に中国四国防衛局長から鳥取・島根両県知

事に対して事前協議の申し入れがあり、6月3日には、鳥取県知事から境港・米子両市長に対して配備についての意見照会がありました。

これを受け、本市においては、6月6日に、市議会ならびに基地に隣接する中浜地区住民に対して、また、6月22日には、中浜地区以外の自治会に対して説明会を開催し、中国四国防衛局から次期輸送機の概要や、今後の配備計画などについて説明がなされたところであります。



次期輸送機(XC-2)

次期輸送機は、現在、岐阜基地に試験配備されていることから、市議会においては7月19日に、地元自治会においては8月26日に現地を訪れ、エンジン音や機体の大きさなどを直接体感されたところであります。私も地元自治会に同行させていただいたところであります。

中国四国防衛局では今後、美保基地におけるデモフライトも

検討していると伺っておりますが、次期輸送機的美保基地配備に関しては、市民の皆様の安全・安心な暮らしの確保が最優先と考えており、意見照会への回答につきまして、市民や市議会の意見、要望をしっかりと受け止めた上で、適切な判断をしまっている所存であります。

学校教育の充実

第一中学校の耐震および大規模改修工事ならびに冷暖房施設改修につきましては、周辺住民の方々の理解と協力をいただきながら、工期の中心でありました夏休み期間を経過し、順調に進捗しております。

耐震改修と冷暖房施設改修につきましては概ね9月末、また大規模改修につきましては11月中旬に、完成予定であります。

また、学校給食基本方針(案)に対するパブリックコメントを実施いたしましたところ、「センター方式ではなく自校方式を望む」「アレルギー食対応への低下を懸念する」などのご意見もいただきましたが、総合的に判断して概ね基本方針(案)のとおり実施することが適当であると考え、学校給食のセンター化、中学校給食の実施に向けた準備を進めてまいりたいと考えております。

社会教育

第7回読書活動推進大会として、8月27日に「赤ちゃんから大人まで本で楽しいひとときを」をテーマに、市民図書館周辺で境港市読書まつりを開催しました。「読書の悦び」を伝える講演会やブックトーク、赤ちゃん対象のお話会など、多彩なイベントを集合させた市民参加型の大会となりました。



境港市読書まつりの様子

北前船みちのく丸の境港寄港にあわせ、7月13日から約1カ月間、海とくらしの史料館で特別展示「北前船と境港く船が運んだもの」を開催しました。

水木しげる先生の曾祖父で廻船問屋を営まれた武良惣平氏に関する資料のほか、伯州綿や銅など北前船ゆかりの品々を展示し、港とともに歩んできた本市の歴史について、広く知っていた、たく機会となったと思っております。

子育て支援

4月に開設しました地域子育て支援センターひまわりは、多くの方に利用していただいております。子育て世帯の新たな交流の場として定着しつつあります。また、子育てサークルや、子育て支援団体の活動も同施設で開催され、子育て支援の拠点施設としての役割を果たしているところであります。

保育所と幼稚園の合築園である外江と余子の2施設の民間事業者への移管につきましては、境港市公立保育所民営化選考委員会での選考結果を受け、移管先を外江は有限会社保育成に、余子は社会福祉法人境港保育会に決定したところであります。

平成25年4月からの移管に向け、8月に、保護者と移管先事業者と市による三者懇談会を開催し、平成24年度に予定している引き継ぎのための共同保育などの協議を行いました。また、0歳から就学前の児童を受け入

れる一貫保育施設に改修するための準備を進めているところであります。



ひまわり前庭で行われた市民による
芝植え作業（6月19日）

高齢者福祉

介護保険法の改正を踏まえ、平成24年度を初年度とする新たな3カ年計画として介護保険事業計画と高齢者福祉計画を策定するため、8月30日に計画策定委員会を発足させたところであります。

今後、本年実施した日常生活圏域ニーズ調査の分析結果や、給付と負担のバランスにも配慮しながら、国が示した基本指針をもとに、必要なサービス量の設定などを計画していくとともに、高齢者の誰もが可能な限り地域で継続して生活できるように、介護や予防、医療、生活支援な

どのサービスを一体的に提供する「地域包括ケア」の充実に努めていく考えであります。

保健福祉

近年、増加傾向にある子宮頸がん対策として、中学校1年生から高校1年生相当年齢までの女子を対象に、7月から予防ワクチンの接種を全額公費負担で開始しております。

実施に当たっては、事前に、ワクチン接種について理解を深めていただくとともに、子宮がん検診受診の啓発もかねて、産婦人科医師による講演会を開催したほか、中学校PTAの会合などで説明させていただき、順調に接種が進んでいるところであります。

がん検診につきましては、平成21年度から国の補助事業で女性特有のがん検診推進事業として、無料クーポン券による乳がんと子宮がん検診を実施しておりますが、本年度からは、大腸がんも加えて、新たに大腸がん検診の無料クーポン券を、40歳から5歳刻みに60歳までの方を対象に発行したところであります。従来から発行しております他の各種検診受診券とともに、定期的な検診等により、病気の早期発見、早期治療に役立てていただきたいと思います。

可決された主な議案

■平成23年度一般会計補正予算

《歳出の主な内容》

〔総務費〕

夕日ヶ丘地区の定期借地契約の締結に伴い、境港市土地開発公社等から用地を取得するための経費8455万円余、住民基本台帳法の改正により、外国人住民も住民基本台帳への登録対象となったことに伴う基幹業務システムの改修費3097万円余などをそれぞれ増額。

〔民生費〕

災害時に援護が必要となる高齢者や障がい者の情報を管理する要援護者台帳システムの導入経費457万円、平成25年度から民間事業者へ移管する保育所と幼稚園の合築園である外江と余子の2施設を、0歳から就学前までの児童を受け入れる一貫保育施設へ改修するための実施設計費420万円余などをそれぞれ増額。

〔衛生費〕

元町病院が実施している救急医療の運営費に対する補助金130万円、健康保険が適用されない体外受精や顕微授精などの不妊治療費に対する助成金275万円をそれぞれ増額。

〔労働費〕

緊急雇用創出事業を活用して、

新たな雇用を創出し実施するもので、観光地「境港市」としての魅力を発信するDVDの作成経費530万円余、「妖怪ガイドブック」外国語版の作成経費360万円などをそれぞれ増額。

〔農林水産業費〕

チャレンジプラン支援事業として、意欲のある農業者が行う、創意思工を生かした取り組みに対して、営農計画の実現を支援するための補助金566万円余、東日本大震災の被災者等を新たに雇用し、沖合漁業や水産物養殖業の技術習得のための研修事業を実施する事業主体への補助金1018万円余をそれぞれ増額。

〔土木費〕

水木しげるロードのトイレ不足に対応するため、大正町の観光バス駐車場に公衆トイレを新設するための実施設計費332万円余、公園施設の子育て環境整備として、トイレにベビーカーを整備するための経費20万円余をそれぞれ増額。

〔消防費〕

東日本大震災により被災した消防団員に対する公務災害補償を確実に実施するため、消防団員等公務災害補償等共済基金の掛金が引き上げられたことに伴い、同基金への掛金264万円

余を増額。

〔教育費〕

市民図書館の省エネ改修事業として、太陽光パネルを設置する屋根の改修が必要となったことに伴う増加工事費437万円余、10月に開催される、きたろうカップ境港駅伝競走大会に、DBSクルーズフェリーの寄港地である韓国・東海市と、ロシア・ウラジオストク市の駅伝チームを招致するために必要な経費191万円余を増額。

《歳入の主な内容》

歳出に伴う県支出金などを計上するほか、財源として繰越金と市債を増額。

以上により、歳入歳出それぞれ1億7896万9900円を増額し、予算総額を142億4524万3千円としました。

《債務負担行為》

市が所有するマイクロスバスを、来年度当初からリース方式で更新することに伴い、その契約事務等を事前に行う必要があるため、また、本年度公用車として導入する電気自動車を市役所閉庁日に観光客や市民へ貸し出しする事業について、事業を委託するレンタカー事業者と長期契約を行うため、それぞれ債務負担行為を設定しました。

■平成23年度国民健康保険費特別会計補正予算

平成22年度に概算払いを受けた、国からの補助金の精算に伴う返還金7万9千円を増額し、予算総額を40億444万4千円としました。

■平成23年度介護保険費特別会計補正予算

平成22年度に概算払いを受けた、社会保険診療報酬支払基金からの交付金の精算に伴う返還金487万9千円を増額し、予算総額を29億5847万6千円としました。

■「境港市税条例等」の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、市民税や固定資産税など市税全般において、正当な理由がなく必要な事項を申告しなかった場合に科す過料の限度額を引き上げるなど、所要の改正を行いました。

■「スポーツ基本法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」の制定

スポーツ基本法の施行に伴い、「境港市スポーツ振興審議会条例」と「境港市特別職の職員の給与に関する条例」の中で引用している名称などを改めました。

■教育委員会委員に「足立ひと美さん」を選任

■公平委員会委員に「江尻敏美さ

んを再任。

■人権擁護委員に神崎和重さんを再任。

■職員懲戒審査委員会委員に門脇哲也さん、赤石有平さん、小山加寿美さんを再任。

■選挙管理委員会委員・補充員が決まりました

【委員】

◇大古戸宏さん（誠道町）

◇西村裕子さん（小篠津町）

◇三代 智さん（清水町）

◇高梨崎男さん（渡 町）

【補充員】

①池淵靖夫さん（中野町）

②岡田幹雄さん（岬 町）

③池淵 正さん（上道町）

④八木橋隆子さん（本 町）

議員提出議案

◇「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出について

◇「2012年度国家予算編成において教育予算拡充を求める意見書」の提出について

請願・陳情の審議結果

■採択

◇地方財政の充実・強化を求める請願

◇2012年度国家予算編成において、教育予算拡充を求める陳情

暮らしやすいまちづくりへ

協働の取り組み状況

●協働とは・・・

NPO、自治会などの市民活動団体、行政、企業などの「団体」同士が、対等な立場で力を合わせ、地域の問題解決に取り組むことを意味します。ただし、単に仲良くするというのではなく、それぞれが共通の目標（地域の課題解決）に向けて、「対等」な立場で、明確に「役割分担」をし、「1+1が2以上になるような」効果をあげることが「協働」の要件です。

●昨年度に新たに取り組んだ協働事業

◇外江町ケヤキ並木清掃活動

昨年11～12月の日曜日6日間、町民全体でケヤキ落葉の清掃を実施（延べ777人参加）

◇中浜サントピア芝生化事業

中浜サントピアグラウンドを総合型地域スポーツクラブと行政が一体になって芝生化

◇小学校・中学校グラウンドの芝生化事業

誠道小学校以外の小学校6校と第一中学校のグラウンドを保護者をはじめとする地域住民と学校と行政が一体となって芝生化

●問い合わせ先

地域振興課企画係 ☎47-1024

●昨年度までの協働の実績（合計94件）

協働の形態	主な事業	実績
事業委託	◇体育施設の管理運営	11件
	◇読み聞かせ広場の実施	
共催・後援	◇人権ふれあいフェスティバル	36件
	◇中海環境フェア	
補助・助成	◇公園の維持・管理、道路清掃	21件
	◇イベント・スポーツ大会の開催	
事業協力	◇境港市一斉清掃	20件
	◇小・中学校グラウンドの芝生化	
情報交換・情報提供等	◇みんなでまちづくり推進会議	6件
	◇精神保健福祉ボランティア講座	